

一般社団法人 鳴門板野青年会議所

2022年度 55周年お☆も☆て☆な☆し委員会

副理事長 佐川 大輔

委員長 高瀬 悟志

<p>現 状 分 析</p>	<p>鳴門板野J Cは本年記念すべき創立55周年をむかえます。しかし、50周年を経験していないメンバーが過半数をしめ、節目の年度の必要性を理解できていないメンバーが多数を占めるなか、記念式典、祝賀会、記念事業の中で、鳴門板野J Cの活動を支えて下さっている地域の皆様、行政関係者、関係諸団体の皆様に向けて感謝を示す必要があります。また、近年では新型コロナウイルスによる影響で外出が減り、ご家族と過ごす時間が増えることで、36%のご家族が会話の材料がなくて困ることがあるという回答結果があります。よって、家族内の思い出のひとつとなるような事業を開催する必要性を感じます。</p>
<p>目指すべき状態</p>	<p>■決起例会では、メンバー100%の出席率を目指すことで、55周年の必要性を周知し、記念式典・記念事業に向けたモチベーションを高められた状態。 ■記念式典、祝賀会では、50周年宣言を振り返ることで、組織力を向上させ青年会議所の方向性を行政関係者、関係諸団体へ感謝の気持ちと共に発表することで、さらなる地域との連携の強化。 ■記念事業では、家族愛をテーマに思い出に残る事業を開催することで、家族の絆が深まり、来場された皆様が笑顔で溢れる状態。</p>
<p>連携概要</p>	<p>■創立55周年に向けての決起例会の企画・設営 鳴門板野J Cが創立55周年を迎えるにあたり、鳴門板野J Cメンバー全員に記念式典、記念事業のイメージを伝えるために100%例会を企画することで、メンバー全員が一致団結し55周年に向かうモチベーションを上げることを目的とします。 ■創立55周年記念式典・祝賀会の企画・設営 鳴門板野J Cとしての方向性を全メンバーで再確認し、鳴門板野J Cの活動を支えて下さっている行政関係者、関係諸団体の皆様に向けて感謝を示すことで、これまで以上に連携を強化することができ60周年に向け更にステップアップすることを目的とします。 ■創立55周年記念事業の企画・設営 これまで鳴門板野J Cを支えていただいた地域の皆様に対し、事業を通し感謝を伝える中で、家族全員で楽しめ、家族の中で忘れられない思い出のひとつとなるような事業を行うことで、皆が笑顔になれるまちになることを目的とします。</p>
<p>S D G s</p>	<p>4. 11. 17</p>
<p>政策手法</p>	<p>■創立55周年に向けての決起例会の企画・設営 記念すべき創立55周年を盛会に終えるために、鳴門板野J Cメンバー全員が記念式典、記念事業のイメージを持ってもらうための、気軽に参加してもらえるような例会を時間を長く企画し、100%例会を目指すことで、多くのLOMメンバーが55周年の大切さや理事長の想いを共有することができ、メンバー全員が同じベクトルにむかうことで全力で55周年をむかえられることができます。 ■創立55周年記念式典の企画・設営 創立55周年記念式典の中で、これまで支えていただいた行政関係者、関係諸団体の皆様に感謝の想いやこれからの鳴門板野J Cの方向性を伝えることで、今まで以上の関係を構築し、更なる青年会議所活動・運動に邁進することができます。 ■創立55周年記念事業の企画・設営 鳴門市の知名度の高い肉フェスのイベントと創立55周年記念事業を絡め、「家族愛」をテーマに事業を企画します。来場していただいた家族が笑顔になり、一生の思い出に残る事業を行うことで、地域への恩返しができます。</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>各地青年会議所、各地シニアクラブ、各地行政関係者、四国放送、徳島新聞、リビング鳴門、鳴門テレビ</p>